

I 医療需給状況

1 医療需要状況

(1) 人口推計

(ア) 推計方法

国立社会保障・人口問題研究所がコーホート要因法（注）を用いて推計、公表している「日本の市区町村別将来推計人口」を活用します。

（注） 同年または同期間に出生した集団ごとの出生、死亡、移動を軸に人口の変化をとらえる方法であり、国際連合における世界人口推計や各国の将来人口推計などでも用いられている信頼性のある人口推計方法です。

(イ) 将来人口

千歳・恵庭圏は、乗降客数 1,800 万人を超え、北海道の空の玄関口である新千歳空港と北海道の中心都市である札幌市との間に位置し、道央自動車道をはじめとする恵まれた交通アクセスや整備された都市基盤などを背景に発展し、全道の人口が減少しているのに対して人口は年々増加しています。

千歳市の人口は、平成 27 年までは伸び率は低下するものの増加する見込みとなっていますが、平成 32 年以降は減少する見通しとなっており、平成 32 年の人口は平成 27 年と比較して 0.3%減の 93,194 人となる見込みです。

恵庭市も千歳市と同様の傾向にあることから、平成 32 年の圏域全体の人口は平成 27 年と比較して 0.3%減の 162,439 人と推計されますが、千歳市及び恵庭市の減少率は北海道の市の中では低い数値となっています。



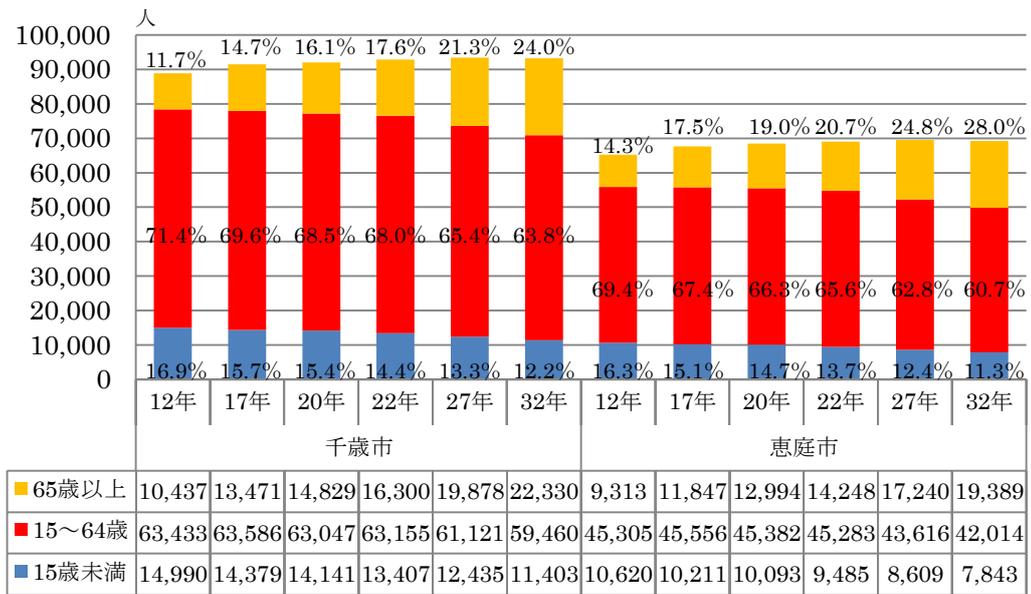
*平成 12、17 年は国勢調査（10 月 1 日現在）、平成 20 年は住民基本台帳（3 月末現在）、平成 22、27、32 年は国立社会保障・人口問題研究所推計値

(ウ) 人口構造

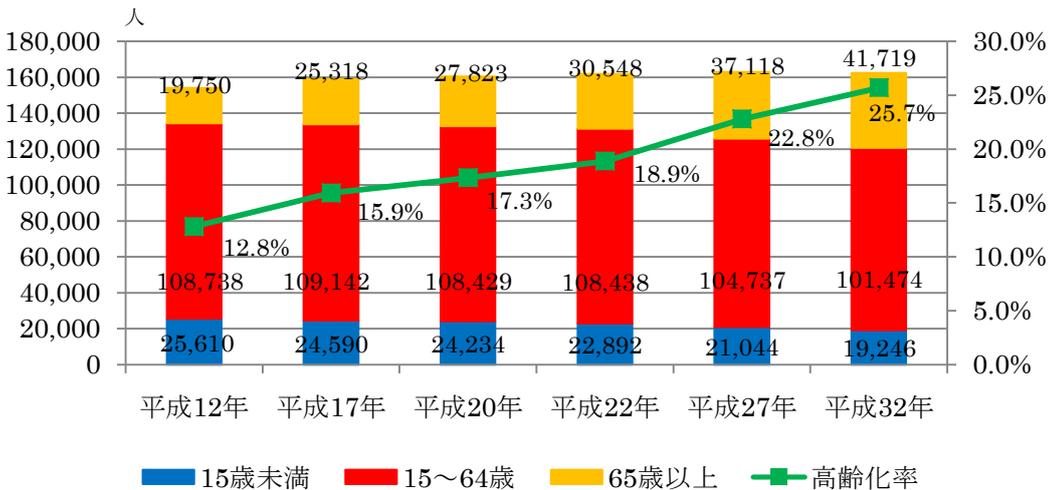
千歳市における15歳未満の年少人口割合は、平成12年の16.9%から平成32年には12.2%と減少する一方で、65歳以上の老年人口割合は、平成12年の11.7%から平成32年には24.0%と増加する見込みです。今後、「北海道一若いまち」である千歳市においても少子高齢化が進行していくものと考えられます。

圏域全体の老年人口割合は、平成32年には25.7%と推計され、約4人に1人が65歳以上となり、千歳市を上回るペースで少子高齢化が進む見込みとなっています。

<年齢階層別人口>



<千歳・恵庭圏合計>



* 平成12、17年は国勢調査(10月1日現在)、平成20年は住民基本台帳(3月末現在)、平成22、27、32年は国立社会保障・人口問題研究所推計値

(2) 患者数推計

(ア) 推計方法

(1) の推計人口（平成 27 年）に、人口 10 万人のうち何人が受診するかを表した厚生労働省患者調査（平成 17 年 10 月）による北海道の受療率を乗じて算出します。

$$\text{患者推計} = \text{推計人口} / 100,000 \times \text{受療率}$$

(イ) 受療率による人口 10 万人当たり患者数

(i) 入院

年齢別の受療率は、5～14 歳以降年齢が上昇するとともに増加しており、75 歳以上では 65～74 歳の約 3 倍となる 8,070 人となっています。

疾患別では、0～4 歳の乳幼児において「呼吸器系の疾患」、「周産期に発生した病態」が多くなっており、成人を過ぎると「精神及び行動の障害」が年齢が上昇するにつれ増加しています。

また、45 歳を過ぎると「新生物」、「循環器系の疾患」が増加し、65 歳以上の老年人口では、「循環器系の疾患」が最も多く全疾患の約 1/3 を占め、次に「精神及び行動の障害」、「新生物」と続きます。

区 分		(単位：人)										
		全年齢	0～4歳	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	65歳以上 (再掲)
総 数		1,667	409	125	242	402	578	914	1,587	2,859	8,070	5,207
内 訳	感染症及び寄生虫症	25	16	3	6	9	16	15	20	39	107	70
	新生物	179	13	12	16	17	51	108	235	455	648	542
	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7	6	3	2	7	1	5	1	8	34	20
	内分泌、栄養及び代謝疾患	48	4	3	6	6	14	22	53	87	232	152
	精神及び行動の障害	372	3	2	52	108	254	378	544	617	1,151	857
	神経系の疾患	129	10	31	29	55	65	76	83	180	645	389
	眼及び付属器の疾患	14	—	1	2	3	3	4	13	45	49	47
	耳及び乳様突起の疾患	3	8	1	2	2	2	2	2	8	7	7
	循環器系の疾患	414	2	2	8	8	23	72	237	665	2,943	1,691
	呼吸器系の疾患	75	126	32	12	7	9	13	34	91	479	266
	消化器系の疾患	73	10	5	14	18	26	53	88	143	283	206
	皮膚及び皮下組織の疾患	7	2	0	1	3	4	5	6	13	29	20
	筋骨格系及び結合組織の疾患	88	5	3	12	14	31	50	93	164	416	277
	尿路性器系の疾患	51	8	8	1	7	8	20	47	106	263	177
	妊娠、分娩及び産じょく	13	—	—	27	58	19	—	—	—	—	—
	周産期に発生した病態	5	123	—	—	—	0	—	—	—	—	—
	先天奇形、変形及び染色体異常	7	44	7	4	12	4	6	5	1	5	3
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22	7	2	5	10	3	10	20	36	116	72	
損傷、中毒及びその他の外因の影響	127	15	10	34	46	43	71	101	191	643	395	
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	6	—	9	13	3	5	2	10	22	15	

(ii) 外来

年齢別では、0～4歳が6,425人となっており、その後15～24歳までは減少するものの、25～34歳以降は年齢が上昇するにつれ増加し、65～74歳及び75歳以上では当該年齢区分の1割を超える受療率となっています。

疾患別でみると、15歳未満の年少人口で「呼吸器系の疾患」と「消化器系の疾患」が多くなっていますが、年齢が上昇するにつれ「消化器系の疾患」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が増加し、老年人口では「循環器系の疾患」と「筋骨格系及び結合組織の疾患」で全疾患の約半分を占めています。

		(単位：人)										
区 分	全年齢	0～4歳	5～14	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上	65歳以上 (再掲)	
総 数	5,923	6,425	3,515	2,366	3,273	4,064	4,908	6,702	10,608	12,349	11,393	
内 訳	感染症及び寄生虫症	131	286	147	92	77	93	107	130	190	184	187
	新生物	151	12	8	14	57	118	158	223	295	357	323
	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	24	33	3	3	19	32	34	29	24	35	29
	内分泌、栄養及び代謝疾患	305	10	8	22	55	116	299	494	753	760	756
	精神及び行動の障害	209	32	32	64	260	242	235	235	243	366	299
	神経系の疾患	153	48	45	44	92	77	118	155	267	512	377
	眼及び付属器の疾患	222	153	143	129	89	100	125	244	447	601	516
	耳及び乳様突起の疾患	105	880	173	51	15	28	36	61	112	166	137
	循環器系の疾患	813	8	26	11	22	121	375	1,090	2,265	3,156	2,667
	呼吸器系の疾患	585	3,319	1,075	335	446	393	418	336	484	482	483
	消化器系の疾患	1,063	463	1,056	710	958	1,378	1,146	1,205	1,191	919	1,068
	皮膚及び皮下組織の疾患	160	353	211	143	142	141	151	108	175	183	178
	筋骨格系及び結合組織の疾患	976	28	83	126	218	402	653	1,149	2,562	3,115	2,811
	泌尿器系の疾患	199	27	30	126	154	154	185	253	372	355	364
	妊娠、分娩及び産じょく	11	—	1	11	49	19	—	—	—	—	—
	周産期に発生した病態	2	45	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	先天奇形、変形及び染色体異常	13	123	12	11	8	1	9	10	8	13	10
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	64	15	35	32	51	53	57	66	124	112	118	
損傷、中毒及びその他の外因の影響	284	139	254	310	252	275	283	318	300	322	310	
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	454	452	173	131	308	321	519	596	797	712	759	

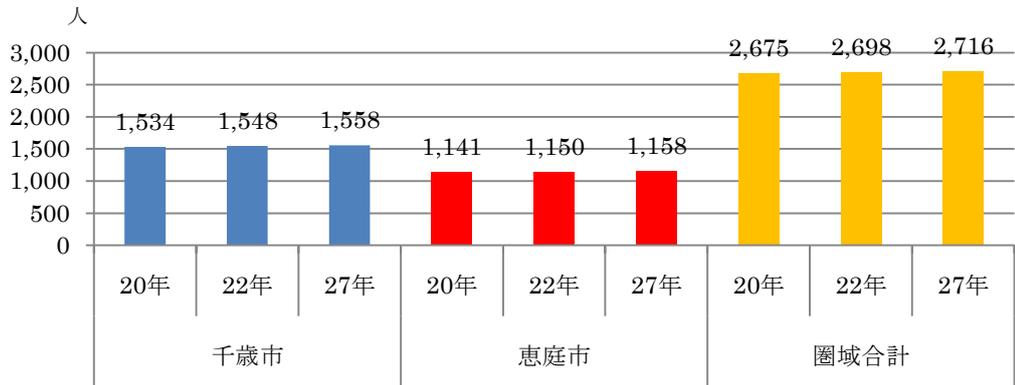
(ウ) 千歳・恵庭圏患者数 (入院)

(i) 年齢別

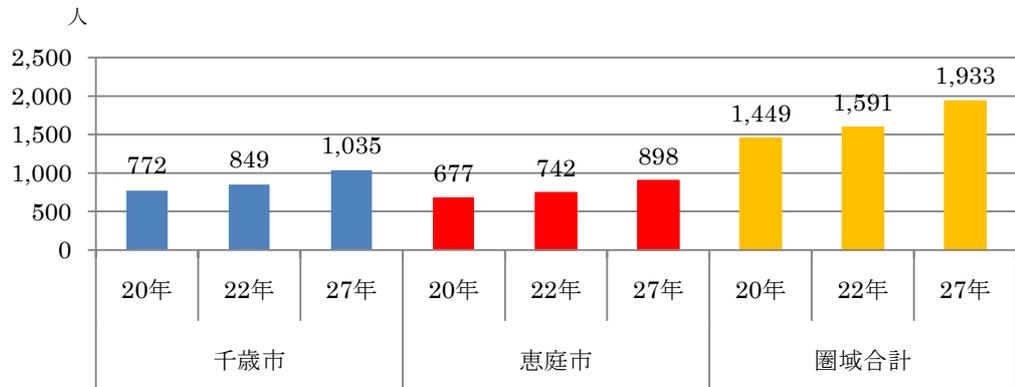
千歳市の入院患者数は、高齢化の進行などにより今後増加することが見込まれ、平成22年が1,548人、平成27年が1,558人と推計されます。恵庭市においても同様の理由により患者数は増加する見込みで、圏域全体の入院患者数は、平成22年が2,698人、平成27年が2,716人と推計され、平成20年と比べると1.5%の増加となっています。

また、65歳以上の老年人口患者数は千歳市、恵庭市とも大幅に増加しており、平成27年の患者数全体に占める割合は71.2%となる見込みです。

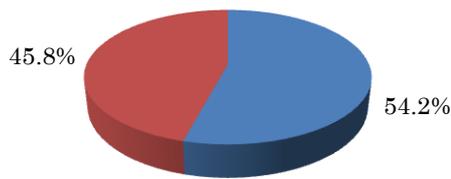
<患者数推計>



<老年患者数推計>

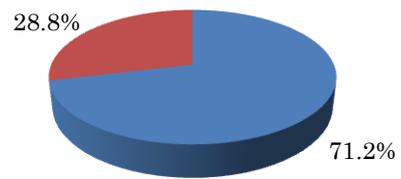


老年人口割合（20年）



■ 65歳以上 ■ 65歳未満

老年人口割合（27年）



■ 65歳以上 ■ 65歳未満

(ii) 疾患別

「新生物」、「精神及び行動の障害」、「循環器系の疾患」の患者数が多くなると推計され、「新生物」、「循環器系の疾患」については、高齢化の進行に伴って老年人口患者数が増加する見込みとなっています。

平成 27 年の患者数に占める老年人口患者数の割合は、「新生物」が 69.1%、「循環器系の疾患」が 93.0%となる見込みです。

(単位：人)

区 分	千歳市				恵庭市				圏域合計			
	平成22年		平成27年		平成22年		平成27年		平成22年		平成27年	
	全年齢	65歳以上										
総 数	1,548	849	1,558	1,035	1,150	742	1,158	898	2,698	1,591	2,716	1,933
感染症及び寄生虫症	23	11	23	14	17	10	17	12	40	21	40	26
新生物	166	88	167	108	124	77	124	93	290	165	291	201
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7	3	7	4	5	3	5	3	12	6	12	7
内分泌、栄養及び代謝疾患	45	25	45	30	33	22	33	26	78	47	78	56
精神及び行動の障害	345	140	348	170	257	122	258	148	602	262	606	318
神経系の疾患	120	63	121	77	89	55	90	67	209	118	211	144
眼及び付属器の疾患	13	8	13	9	10	7	10	8	23	15	23	17
耳及び乳様突起の疾患	3	1	3	1	2	1	2	1	5	2	5	2
循環器系の疾患	384	276	387	336	286	241	288	292	670	517	675	628
呼吸器系の疾患	70	43	70	53	52	38	52	46	122	81	122	99
消化器系の疾患	68	34	68	41	50	29	51	36	118	63	119	77
皮膚及び皮下組織の疾患	7	3	7	4	5	3	5	3	12	6	12	7
筋骨格系及び結合組織の疾患	82	45	82	55	61	39	61	48	143	84	143	103
泌尿器系の疾患	47	29	48	35	35	25	35	31	82	54	83	66
妊娠、分娩及び産じょく	12	0	12	0	9	0	9	0	21	0	21	0
周産期に発生した病態	5	0	5	0	3	0	3	0	8	0	8	0
先天奇形、変形及び染色体異常	7	0	7	1	5	0	5	1	12	0	12	2
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20	12	21	14	15	10	15	12	35	22	36	26
損傷、中毒及びその他の外因の影響	118	64	119	79	88	56	88	68	206	120	207	147
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7	2	7	3	6	2	6	3	13	4	13	6

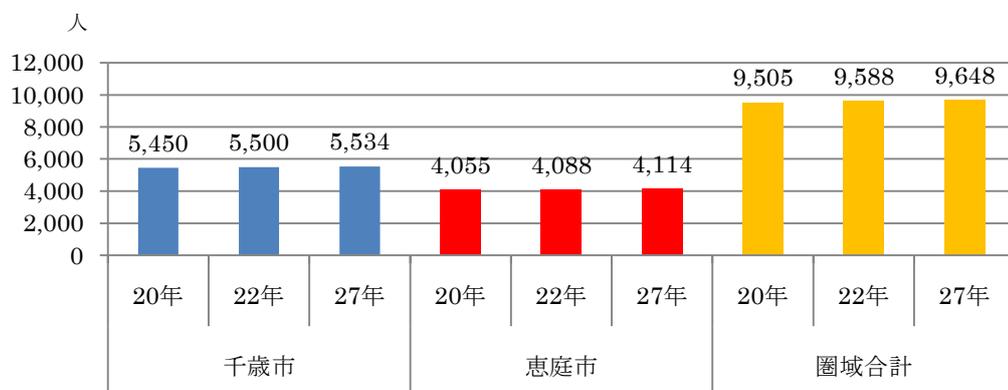
(エ) 千歳・恵庭圏患者数（外来）

(i) 年齢別

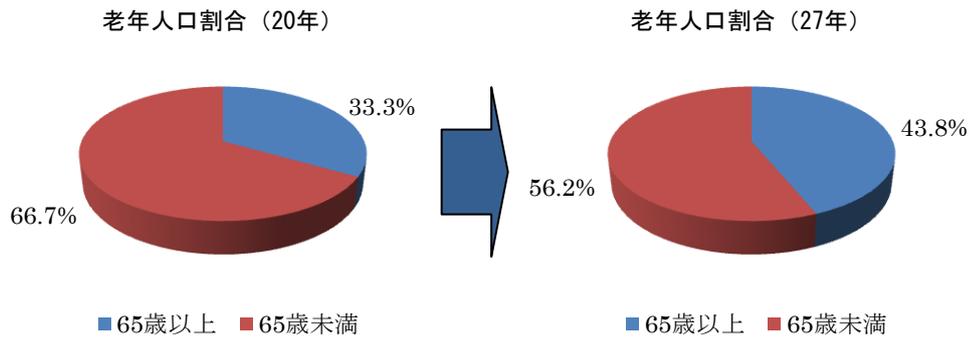
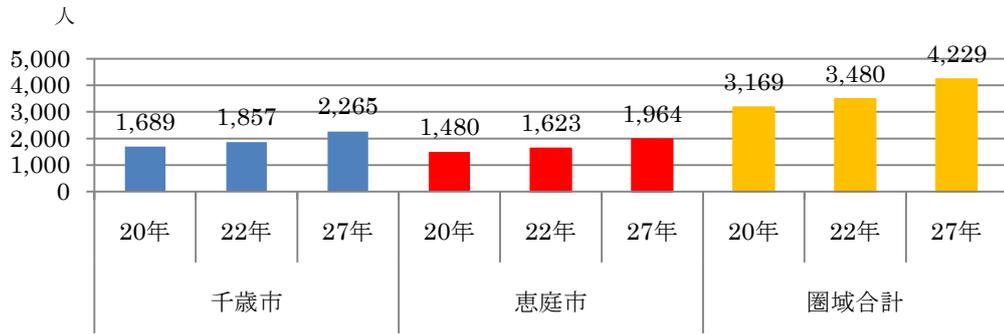
千歳市の外来患者数は、入院と同様、高齢化の進行などにより、今後増加すると見込まれ、平成22年が5,500人、平成27年が5,534人と推計されます。圏域全体の患者数は、平成22年が9,588人、平成27年が9,648人となる見込みです。

また、老年人口患者数は大幅に増加する見込みとなっており、全患者数に占める割合は平成20年の33.3%から平成27年には43.8%となる見通しです。

<患者数推計>



<老年人口患者数推計>



(ii) 疾患別

「消化器系の疾患」が一番多く、次いで「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「循環器系の疾患」、「呼吸器系の疾患」となっています。

また、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「循環器系の疾患」については、老年人口の占める割合が非常に大きくなっています。

区 分	千歳市				恵庭市				圏域合計			
	平成22年		平成27年		平成22年		平成27年		平成22年		平成27年	
	全年齢	65歳以上										
総 数	5,500	1,857	5,534	2,265	4,088	1,623	4,114	1,964	9,588	3,480	9,648	4,229
感染症及び寄生虫症	122	30	122	37	90	27	91	32	212	57	213	69
新生物	140	53	141	64	104	46	105	56	244	99	246	120
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	22	5	22	6	17	4	17	5	39	9	39	11
内分泌、栄養及び代謝疾患	283	123	285	150	210	108	212	130	493	231	497	280
精神及び行動の障害	194	49	195	59	144	43	145	52	338	92	340	111
神経系の疾患	142	61	143	75	106	54	106	65	248	115	249	140
眼及び付属器の疾患	206	84	207	103	153	74	154	89	359	158	361	192
耳及び乳様突起の疾患	98	22	98	27	72	20	73	24	170	42	171	51
循環器系の疾患	755	435	760	530	561	380	565	460	1,316	815	1,325	990
呼吸器系の疾患	543	79	547	96	404	69	406	83	947	148	953	179
消化器系の疾患	987	174	993	212	734	152	738	184	1,721	326	1,731	396
皮膚及び皮下組織の疾患	149	29	149	35	110	25	111	31	259	54	260	66
筋骨格系及び結合組織の疾患	906	458	912	559	674	401	678	485	1,580	859	1,590	1,044
泌尿器系の疾患	185	59	186	72	137	52	138	63	322	111	324	135
妊娠、分娩及び産じょく	10	0	10	0	8	0	8	0	18	0	18	0
周産期に発生した病態	2	0	2	0	1	0	1	0	3	0	3	0
先天奇形、変形及び染色体異常	12	2	12	2	9	1	9	2	21	3	21	4
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	59	19	60	23	44	17	44	20	103	36	104	43
損傷、中毒及びその他の外因の影響	264	51	265	62	196	44	197	53	460	95	462	115
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	422	124	424	151	313	108	315	131	735	232	1,055	282

2 医療供給状況

(1) 医療施設

千歳・恵庭圏には 15 病院が開設しており、その全てが一般病床数 200 床以下で、そのうち 100 床以上は市民病院を含め 4 病院となっています。

当圏域の施設数及び病床数の状況を人口 10 万人に対する率で見ると、診療所の病床数は全道を上回っているものの、病院数、診療所数及び病院の病床数は全道を下回っています。

<千歳・恵庭圏病院一覧>

区 分	経営主体	病床数				診療科目							救急告示	
		一般	療養	精神	計	内	小	外	産婦	眼	耳	その他		
<千歳市>														
市立千歳市民病院	千歳市	190			190	○	○	○	○	○	○	消、循、整、脳、皮、泌、麻	○	
千歳桂病院	医療法人			248	248	○						精、神		
千歳第一病院	医療法人	82			82	○		○				神内、消、整、肛、リハ、麻、リウ	○	
千歳豊友会病院	医療法人	32	33		65	○						神内、脳、リハ	○	
千歳病院	医療法人			168	168	○						精、神、心内		
尾谷病院	医療法人	20			20	○						消、循		
北星病院	医療法人	90	50		140	○						整、リハ、麻、リウ	○	
向陽台病院	医療法人		60		60	○						整、リハ		
小計		414	143	416	973									
<恵庭市>					0									
本田記念病院	医療法人			184	184							精、神内、心内		
島松病院	医療法人			180	180	○						精、神		
恵み野病院	医療法人	200			200	○	○	○				呼、消、循、整、形、脳、呼外、心外、皮、泌、放、麻	○	
えにわ病院	医療法人	150			150	○						循、整、リハ、麻	○	
恵庭南病院	医療法人	42	108		150	○		○				呼吸器内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、リハ		
尾形病院	医療法人	6	38		44	○		○				消		
恵庭第一病院	医療法人	159	40		199	○	○	○				神内、呼、消、循、整、脳、泌、肛、リハ	○	
小計		557	186	364	1,107									
合計		971	329	780	2,080									

*平成 20 年 6 月 1 日現在

*内：内科、小：小児科、外：外科、産婦：産婦人科、眼：眼科、耳：耳鼻咽喉科

消：消化器科、循：循環器科、整：整形外科、脳：脳外科、皮、：皮膚科、

泌：泌尿器科、麻：麻酔科、精：精神科、神：神経科、神内：神経内科、肛：肛門科

リハ：リハビリ科、リウ：リウマチ科、心内：心療内科、呼：呼吸器科、

形：形成外科、呼外：呼吸器外科、心外：心臓血管外科、放：放射線科、歯：歯科

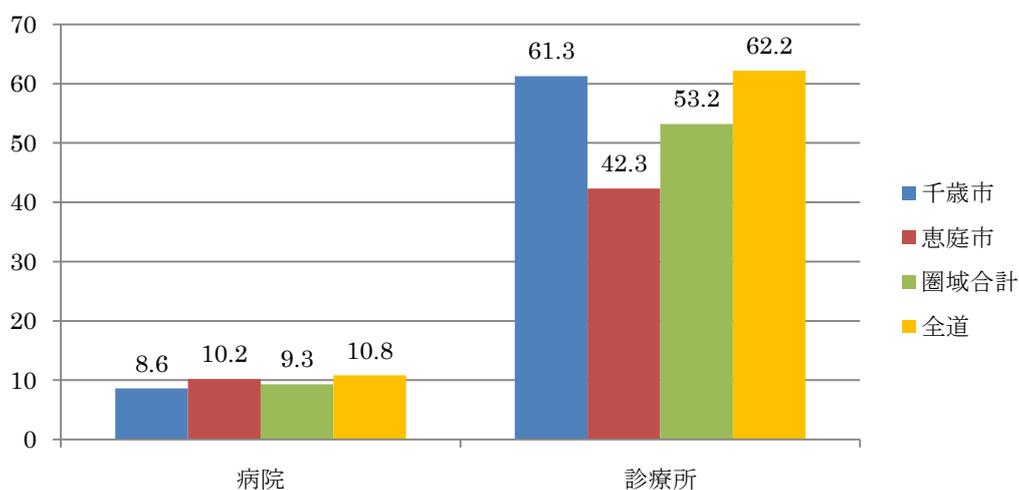
<施設数>

区 分	病院		診療所	
	施設数	人口 10 万人 に対する率	施設数	人口 10 万人に 対する率
千歳市	8	8.6	57	61.3
恵庭市	7	10.2	29	42.3
圏域合計	15	9.3	86	53.2
全道	605	10.8	3,485	62.2

*石狩管内概要 2008 より

*施設数は平成 20 年 1 月 1 日現在

*人口は平成 19 年 12 月末現在



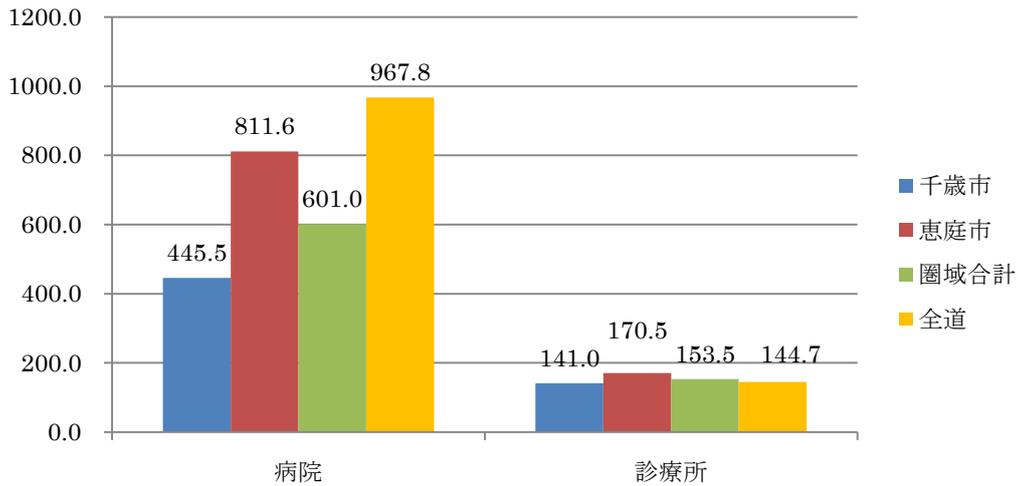
<一般病床数>

区 分	病院		診療所	
	病床数	人口 10 万人 に対する率	病床数	人口 10 万人に 対する率
千歳市	414	445.5	131	141.0
恵庭市	557	811.6	117	170.5
圏域合計	971	601.0	248	153.5
全道	54,208	967.8	8,105	144.7

*病床数は平成 20 年 6 月 1 日現在

*人口は平成 20 年 5 月末現在

*全道は平成 18 年北海道保健統計年報より (平成 18 年 10 月 1 日現在)



(2) 医療従事者

千歳・恵庭圏における医師及び看護師の人口10万人に対する率は、ともに全道を大きく下回っています。

区分	医師		看護師	
	人数	人口10万人に対する率	人数	人口10万人に対する率
千歳市	114	125.6	740	815.0
恵庭市	107	159.7	667	995.5
圏域合計	221	140.1	1,407	891.6
全道	12,201	216.7	64,668	1,148.6

*17 石狩年報より (平成16年末現在)

